

# 写真で紹介!

## 平成24年度 公民館上半年期実施事業 (教室・講座)

今年度、小須戸地区公民館では誰でも気軽に楽しく参加できる25の事業(教室・講座など)を開催しています。上半期を振り返り、新しく実施した事業を中心に活動の様子を写真で紹介いたします。



### ルーシーダットン

初めての土曜、夜講習(19:30スタート)でした。募集人数を超える申込みにお断りした人も出るほどの人気の講座となりました。呼吸法や自分で出来る矯正方法等を教えてもらいました。リラックスでき、ルーシーをした日はぐっすり眠りました。

### 初心者料理講習会

男性参加者もあり、砂糖と塩を間違えるハプニングもご愛嬌。主婦の皆さんにも、今さら聞けない基本の仕事と掛け離れた別の自分との取り方や野菜の切り方を確認したと好評でした。



### ハンドメイド講習会

意外な人気のハンドメイド講習会。ずっとやってみたかったんだけど…とおっしゃる方が大半。講師の方に教えていただき、最後は大作(ベスト)に挑戦するという方も。ほっこり手作りに癒される時間です。



### 夏休みわくわくひろば

夏休み期間中の毎週金曜日(4回シリーズ)に実施中。今までに無いくらい大勢の子ども達が公民館に集まりました。竹のお椀と箸で、流れてくるそうめんを楽しく、おいしそうにすみました。



### ごくらくクラブ

第2回目の陶芸教室の1コマです。作り手によって、同じ大きさの粘土から全く違うものが生み出されます。みんな陶芸家になりました。

「リフレッシュ」  
人には、さまざまなりフレッシュの在り方があると思いますが、私は、なんと言つても仕事と掛け離れた別の自分が一番だけの趣味を持つ事が一番だと思います。又、この気分転換によつて仕事への励みを感じます。  
私は、かれこれ四十年近く同じ里山に出向いては山菜を探り、どこへ行けば何があるか知つてゐるつもりです。



田中 勇さん  
(新保)

春と一言

春は、フキノトウから始まりますが、山菜ばかりではありません。なんと言つても春の萌え景色と山の空気はまさに心のリフレッシュです。山菜は、天ぷらにしたり、炒めたりとお酒を飲みながら食べるのも至福のひとときです。これから秋にかけては、キノコ採りです。舞茸、ナメコが最高の味覚で、秋が待ち遠しくなりません。

## 小須戸喧嘩燈籠まつり



撮影:風間源一郎氏  
三百六十年余りの歴史を誇る勇壮なお祭りです。一基一トン近くの重さがあるといわれた松、竹、梅、桜の四基の燈籠が若衆にかつがれ町内を練り歩きます。

二年前の商店街の大規模火災の影響により小須戸喧嘩燈籠まつりに不参加を続けるが、籠まつりに不参加を続けざるを得なかつた被災地域(以前よりも十数戸戸数が減つた)にある梅組が今年は二年振りに祭りに参ります。

### 二年振りに祭りに参加 梅組の比企実行委員に聞きました

二年前にあつた火災の次のが梅組の役員会議だつたこの期待が高まります。今年は、本来の松竹梅桜の期待が高まります。現在の率直な感想は、やっと祭りが出来ることを思い出します。その時も無理(不参加)だと思っていました。正直なところ今年も無理(不参加)だと思っていました。私が実行委員長でした。

◎なお小須戸喧嘩燈籠まつりの後、午後七時から児童公園(小須戸市が立つ所)で「おけさ踊り大会」も四葉会の主催で復活します。

Q 祭りに参加出来なかつた A 気持ちはどうでしたか。  
Q 去年の祭りは、よそ(A)去年の祭りは、よそ(松、竹、桜)の組の燈籠を遠くから見ていました。「来年は必ず出てくれ」と他の組から言われました。

Q 地域住民の反応はどうですか。 A 今年の一月に会議で今年の祭りに梅組の燈籠を出すと竹、桜)の組の燈籠を遠くから見ていました。「来年は必ず出てくれ」と他の組から言われました。

## 「新津南高等学校開放講座」 好評受付中!!

同校の現役高校教師による楽しく、知識の向上や実技講習を受講してみませんか。  
日 時 9/29、10/20、11/17  
午前10時~正午  
12/15、1/19 午前9時半~正午  
(全て土曜日)全5回  
会 場 新津南高校、小須戸地区公民館(内容により会場が異なります)  
講座により材料費  
対 象 どなたでも、どうぞ[先着25名]  
申込み ※活動内容の詳細は公民館まで  
9月21日(金)までに小須戸地区公民館へ☎38-2234

### お知らせ

~小須戸の今昔写真展~  
明治から、現在までの小須戸の今昔写真パネルを展示します。

期 間 8月30日(木)~9月30日(日)

時 間 午前11時~午後6時  
※火・水曜は休館。11月中旬からも開催予定  
会 場 町屋ギャラリー薩摩屋  
〔小須戸本町2、小須戸商工会館向かい〕

※同展は入場無料

